

平成30年度 第2回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成30年10月30日（火） 9時30分～11時00分
- 2 開催場所 宇都宮市役所14階 14A会議室
- 3 出席委員 20名  
丸山委員長，竹内副委員長，長谷川委員，日渡委員，金田委員，今井委員，石井委員，高岡委員，池田委員，半田委員，斎藤委員，坂本委員，十河委員，稲葉委員，小林委員，口川委員，山本委員，西田委員，生垣委員，浅野委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
  - ・報告事項
    - (1) 平成31年宇都宮市成人式について
    - (2) 平成30年度生涯学習センター文化祭について
    - (3) 宇都宮市民大学（前期）の実施状況について
    - (4) 人材かがやきセンター主催講座（前期）の実施状況について
  - ・協議事項
    - (1) 平成31年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について

7 発言の要旨

丸山委員長	まず，報告事項（1）「平成31年宇都宮市成人式について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
丸山委員長	ただ今の説明につきまして，ご意見，ご質問がありましたらお願いいたします。
小林委員	成人式では「宇都宮の歌」を歌っておりますが，新成人はあまり歌えていない状況にあるかと思えます。学校ではどのような教育に取り組んでいるのでしょうか。
口川委員	学校教育の中でも，音楽の授業で指導するのは教育課程において難しいところがあります。そのため，本校においては給食の時間に流すなどの工夫をして継続的に児童が親しめるようにしているところです。

山本委員	本校におきましても給食の時間などに1～2週間は流すなどして子どもたちが歌を耳にする機会を作るようにしています。
小林委員	今の子どもたちは「宇都宮の歌」を歌えるのでしょうか。
山本委員	子どもたちが「宇都宮の歌」を歌うということについては、音楽の合唱の授業では合唱コンクールに時間を割いているほか、学校ではどうしても校歌が優先になりますので、子どもたちに歌わせる時間や機会をとるのが中々難しい状況にあるところ です。県民の歌も同様に、子どもたちに教える時間はほとんど取れておりません。
小林委員	私も歌えはしないのですが、「宇都宮の歌」は有名な古賀政男が作曲しており、とても良い歌だと思いますので、よろしく願いいたします。
竹内副委員長	「宇都宮の歌」については、例えば新たな歌い手を募って新しいバージョンを作るなど、何か普及させるための新しい方法などは考えているのでしょうか。
事務局	宇都宮市では、行政経営課において希望する関係課へCDを配付し、イベントなど様々な場面で曲を流すなど、より多くの市民が耳にする機会の拡充に努めております。新しいバージョンなどにつきましては、「宇都宮の歌」の著作権の問題などもあるものですから、新バージョンや編曲などは今のところは考えておりません。
池田委員	私の地域におきましても、文化祭の最後などイベントの際に「宇都宮の歌」を流したりしております。知らない人も多いかと思いますが、良い歌ですので、市としても推奨していただければと思います。
丸山委員長	その他ご意見はございますでしょうか。 成人につきましては、民法改正によって年齢が18歳に引き下げになりますが、そのことについては今後どのようにしていくかなど、私たちにはわからない状況です。事務局から説明をお願いいたします。
事務局	成年年齢が18歳に引き下げられる民法改正が閣議決定され、2022年度より施行となります。国では今年4月に「成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議」を設置し検討を始めたところであり、2020年に国がまとめた情報等が示される予定でもありますことから、国からの情報を受けて2022年度に向けて検討していきたいと考えております。
丸山委員長	ありがとうございます。その他にご意見ございますか。  それでは他にないようですので、この件については以上とさせていただきます。では、続きまして報告事項②「平成30年度生涯学習センター文化祭について」

事務局より説明をお願いいたします。

【資料について説明】

【各センター所長による説明】

丸山委員長

ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問ございましたらお願いいたします。

浅野委員

文化祭の開催日程ですが、期間はおよそ2日間～3日間、3日目は3時くらいに終わるセンターがあります。2日間というセンターは、2日目が2時まで、3時まで、12時までなど様々でございます。一番短いセンターについては1日半の開催です。会場の準備には1日半ほどはかかり、準備委員会でも色々ありますので、準備の労力と展示の期間がアンバランスな気がします。地域住民とのふれあいというのは大きな目的だと思うのですが、1日半では地域の方も中々来られない方もおりますので、展示期間1日半というのはちょっと少ないのではないかと思います。中央生涯学習センターは期間が3日間で、3日目が3時までとなっていますが、最低2日か3日は展示の期間としてほしいと思います。また、センターによっては展示などの作品1点につき、あるいは1人について100円かかることがあります。これは統一されていないのか、あるいはこういった基準でやっているのか説明を聞かせていただきたいです。

事務局

文化祭の作品展示の費用につきましては、各センターで団体数や作品の規模などが様々なので、それぞれの実行委員会の中で設定しており、特に一点いくらというものは全市的に統一はしていないところです。作品展示の日数につきましても、各センターの行事、文化祭に限らず地域の農業祭などとあわせてやっているという現状もありまして、その中で可能な限りの日数で長期間展示しているところですので、日数につきましては、ただ今のご意見を今後の検討材料としていけたらと思っております。

雀宮生涯学習センター所長

100円の参加料をとるところととらないところの違いにつきましては、中心部の生涯学習センターは生涯学習課の予算で実施しておりまして、半分は自己負担をしなくてはならないという関係でおそらく参加料をいただいているのだと思います。また、地区市民センター併設の生涯学習センターにつきましては、まちづくり協議会と共催になっておりまして、まちづくり協議会から文化祭の運営資金をいただいておりますので、各実行委員会の判断で参加料をいただいたりいただかなかったりなのだと思います。

丸山委員長

ありがとうございました。他には何かございますか。

長谷川委員

今回、雀宮生涯学習センターでは、和久先生をお呼びするかと思います。前にどこかのセンターでは中国雑技団をお呼びして披露したこともあるとお聞きしたので

すが、謝金などはどのようになっているのでしょうか。

篠井生涯学習  
センター

篠井生涯学習センターでは中国雑技団を呼んだのが平成22年か23年と少し前のことになってしまうので、謝金の金額については手元に資料がなく正確にお答えできないのですが、当時の担当者によりますと5万円まではいかず、3万円か4万円ほどで相場からすると大分低く、主旨をご理解していただいた上で、やっていただいたと聞いております。また、篠井はうどんが特産でございますので、そちらでもてなすなどもいたしました。中国雑技団は、あさやホテルに滞在して元々県内にいたということがあり、移動距離もそれほどなく、足を延ばして宇都宮まで来ていただいたということでした。

長谷川委員

和久先生に関してはいかがでしょうか。

雀宮生涯学習  
センター

今回は文化祭とは別に「雀宮の日」制定記念事業の部分で、みんなでまちづくり課の方から「地域みんなの夢実現事業」ということで補助金をいただいており、そこから謝金を支出しております。謝金に関しましては、講師の方からこの事業を大変面白い取組と言っていただき、同じような金額でかなりお安くお願いしており、精一杯おもてなししたいと思っております。

丸山委員長

ありがとうございました。他に何かご意見ございますか。

所長の説明を聞いておまして、非常に地区の特色を出している、工夫されているようなところがあり素晴らしいと感じました。

それでは次の議案に移らせていただきます。報告事項の③「宇都宮市民大学（前期）の実施状況について」事務局から説明をお願いいたします。

事務局

【資料について説明】

丸山委員長

ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問ございましたらお願いいたします。

浅野委員

1の合同開校式で受講者数は158名となっておりますが、一般の人は何名くらい入っているのでしょうか。

事務局

合同開講式・公開講座だけの受講者ということでよろしいでしょうか。

浅野委員

その通りです。公開講座は元々そのような一般の人を対象にしていると思いますので。

事務局

公開講座につきましては、4名や5名程度になります。受講料を徴収して公開講座のみ受講した人数になりますので、学生については含めていない数字になります。

浅野委員	合同開校式に学長は出席されましたか。
事務局	学長は宇都宮市長になりますが、学長は所用により欠席し、教育長が代理で挨拶をいたしました。
浅野委員	市民大学後期につきましてはどうでしょうか。
事務局	後期につきましては、先週の10月25日木曜日に合同開校式を行いました、学長の市長は欠席ということで、代理として教育委員会の主催者が挨拶をいたしました。
浅野委員	実は我々、講座企画・運営ボランティアスタッフで、学長が顔を出さないのはおかしいのではないかと提案して始まりましたが、規模が大きくなってしまい、本当はもっと簡単に、例えば市役所の講堂での挨拶なら、忙しい市長でも数分で済むと思うのですができないのでしょうか。それとこの公開講座に専門講座の受講者が強制的に参加させられて費用もとられています。公開講座と専門講座は分離して、独立してやるべきではないかと思いますがいかがでしょうか。また、他の大学などの公開講座は無料でかなり大勢の人が何百人と来ておりますが、この公開講座が数名ということは、魅力がないのかもしれないですし、無料にする、面白い講座にするなど、もう少し改善の余地があるのではないかと検討してもらいたいと思います。
事務局	昨年度の市民大学後期の公開講座につきましては、市役所14階の大会議室を会場として実施しておりまして、受講生の方も市の中心部でやるというところでは交通のアクセスなどについて非常に好意的な意見をいただいたところでございます。また、合同開校式・公開講座の開催の在り方につきましては、ここ数年の受講者アンケートからもご指摘いただいた意見と同様の意見が多数ありましたことから、現在、事務局で開催の在り方について検討しているところでございます。
丸山委員長	ありがとうございます。他に何かご意見・ご質問ございますか。 それではないようですので、次の議案に移らせていただきます。報告事項の④「人材かがやきセンター主催講座（前期）の実施状況について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>【資料について説明】</b>
半田委員	4番の「地域未来塾学習支援モデル事業」で、3日間の実施ということだったんですけども場所はどこで開催したのでしょうか。
事務局	こちらにつきましては、中央生涯学習センター5階にある人材かがやきセンター研修室が会場でありまして、全市的に各生涯学習センターにも生徒の参加につい

ては募集をかけさせていただいたのですが、開催が中心部だったということで、一条中学校や旭中学校など中心部の中学生の参加が多かった状況です。

半田委員 定員が50名ということだったのですが、申込数の39名は3日間で39名だったのか、1日39名が3日間来たということなのかどうなのでしょう。

事務局 この講座につきましては3日間トータルの延べでの申込数になっております。

半田委員 講座の内容については、夏休みの宿題などでしょうか。

事務局 基本的には自由研究のようなものは除き、国語や数学など5教科についての学習支援になります。学習塾ではないので学力向上を目的とするのではなく、放課後の学習支援は家庭での学習の習慣づけや意識づけということを目的としておりますので、学校で行っている勉強の範囲で行っております。そのため、学校で出されている宿題などのわからないところを聞いてもらい、それに対して大学生が教えるというものになります。

半田委員 実施した手応えとしてはどうだったのでしょうか。

事務局 教えてくれる学生はやりたいと手を挙げていただいた方に登録をしていただいており、宇都宮大学の学生で教育学部の学生も多いですが、実際のところは教えているところを見てみないとわからない部分もありました。しかし、どの学生も非常に優しく教えてくれて、男子も女子も半々くらいでしたが、想像以上に一生懸命やってくれたという印象をもっております。

丸山委員長 他にございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、次の議案に移らせていただきます。(2)協議事項の①「平成31年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について」事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料について説明】

丸山委員長 それでは、本日の協議事項になりますが、「事業運営の考え方について」委員の皆様にご意見いただければと思います。

西田委員 指標を拝見して利用者が増えているということで、これは各生涯学習センターの利用者対応など努力された成果が出ているのかなと感じました。1つ教えていただきたいのですが、重点項目(3)に「地域学講座など地域に対する理解や愛着を育

む講座や、地域活動団体やボランティア団体等と連携した」というところがあり、具体的にはどういう地域活動団体やボランティア団体の方が参加、協力しているのか教えていただきたいと思います。

事務局

地域学講座につきましては、各地域で様々な地域団体と協力して開催している講座になりますが、主なところはまちづくり協議会、育成会などが多いと事務局では伺っております。

雀宮生涯学習センター所長

今回お配りしている文化祭のチラシを見ていただきますと、「雀宮史跡めぐり」というものがありますけども、これは雀宮生涯学習センターの講座になっておりまして、地域の郷土史研究会の方々が案内してくださり地域の史跡をめぐるものになっております。

河内生涯学習センター所長

河内生涯学習センターとしましても、地域学講座としてまちづくり協議会の企画広報部会のメンバーに年間4回の講座をもっていただいております、地域の歴史・文化等に地域の方が触れる講座を運営しております。

西田委員

ありがとうございます。  
地域の方の関心に合った講座が開かれているのだと理解できました。

今井委員

最近、我々が色々なところで行政あるいは教育、企業などの講演会に行きますと、一番出てくるのがSDGs（エスディージーズ）という言葉です。「持続可能な開発目標」をどうやって定めていくかということがよく出てきます。今後はこの世界的な動きでもあるSDGsという視点から考えるならば、どのようなゴールとどのようなターゲットを定めて取り組んでいくのでしょうか。SDGsの視点からこのような事業運営の考え方ができるとわかりやすくなるのかなと思います。SDGsとの連携と申しますかつながりをどのように考えているのか聞かせていただければと思います。

事務局

SDGs、持続可能なという観点で話をさせていただきますと、生涯学習センターにつきましては、今回、指標で6つを掲げておりますが、特にこの指標1にありますとおり、「生涯学習センターの利用者数」において、講座の参加者数および貸館の利用者数をあげております。この利用者数につきましては、宇都宮市の基本的なまちづくりの計画であります第6次宇都宮市総合計画の中でもこの指標を掲げておりまして、施設としては市民により利用される施設を目指していくべきであろうということでこの指標をあげております。国などにおきましても、社会教育施設ですので、公民館の役割として地域コミュニティへの貢献が大きく謳われておりまして、このような観点からも地域住民にさらに利用される施設になっていく必要があるということで指標1に利用者数をあげておりますので、どのくらい地域住民に使ってもらえるかということが大きな1つの目標になるかと考えております。

今井委員

質問させていただいたのは、施設の使用的な目標ではなく、皆さんの活動がどういふところを目指すのかという活動のあるべき姿、そして達成した社会というのはいふどういふ社会を目指すのかというよふな、SDGsの視点におけるゴールや目標などを今後検討していただければよふと思ひます。

丸山委員長

ありがとうございます。他に何かございますか。

坂本委員

この生涯学習事業につきては、色々盛んでござんですが、各地域には学校の地域協議会ができておると思ひます。豊郷地区におきては、この地域協議会と十分に協議をし、これからどういふ行事を組むとか、改善をこのよふにしたいといふことを、生涯学習センターも通しながら学校と話をしておる。私達もそれらの評議員になっておる。特に豊郷地区には県立高校がござりますが、県立高校の協議会では大変細かい話をいただけておる。それに地域としてどう応えるかといふことで、私達の考え方も述べながら解決をしていくといふことでやってきておる。小・中あるいは大学、豊郷には美術館もござりますが、そのよふ中での話し合いをつめて、地域で生涯学習としての事業をうまくやるにはどのよふにしたらよふかといふのは、団体との話し合いを進め、市の意見を聞くなどして、地元が主体になって進めていくことを私は考えておる。今までやってきた中で、私が一番強く申し上げてきたのはいじめ問題なのですが、先生による言葉の暴力、いじめ、これを無くしていただきたい。子どもたちは先生からの言葉で大変ショックを受けます。これは一番見えないいじめの姿かなといふ風に思っておる。県に聞きますと、豊郷地区に限らず他の学校でもあるよふで、例えば「あなたは推薦で来たのだからもっとできなくちゃならないんだよ」など、そのよふな話を学校の中で先生から言われると、生徒は大変ショックを受けます。自分ではそれなりに努力しているにも関わらず、そのよふに先生から言われてしまい、かなりの時間悩んでいたといふ話も実際に聞いておる。その辺りの指導の仕方を一つ研究していただきたいと思っておる。豊郷地区におきては、そのよふな内容をどんどん出し合い、みんなが安心して通えるよふな学校にしていききたい、あるいは一般社会もそのよふな形で進めていききたいといふよふに考えておる。

十河委員

平成31年度生涯学習センター事業運営の考え方につきて、裏面の「3. 生涯学習センターの役割」の4番目に「地域住民や多様な団体が交流・活動する場として、施設の活用を促す事業の推進」とござりますが、具体的にどのよふな方法でやっていくかお伺ひしたいです。

事務局

こちらにつきては、指標1に大きく関連してくるところであり、貸館の利用者や文化祭の参加団体などを増やすといふことに力を入れ、指標1が向上していくよふなものに取り組んでいききたいといふことです。具体的に何か新しい取組を始めるなどといったところまではイメージできてはいないのですが、各地域の委員や利



用者の方からは、事務局や生涯学習センター所長などに、こういったことをすればもっと参加者が増えるのではないかというご意見がいただければ幸いと考えております。

十河委員

現実問題として、姿川生涯学習センターは参加者を促す事業というのは必要がなく、利用者が多すぎてしまい逆に抑制したいくらいです。他の生涯学習センターでもそのような状況があるのではないかと思うのですが、生涯学習センターの利用率、稼働率といったものはどの程度なのでしょうか。

事務局

手元に稼働率の資料はないのですが、各学習室の稼働率が高い生涯学習センターもあれば、5割程度の稼働率となっている生涯学習センターがあるのも事実でございます。特に稼働率が低いセンターにつきましては、基本的なことですが、どなたでも使える施設であることのPRや、そこで行われているサークル活動、学習活動などを幅広く紹介していくことが第一歩かなと思っております。姿川生涯学習センターがいっぱい使えないということで、他の生涯学習センターに利用者が流れていっているという話も伺っているところですが、すでに生涯学習センターを利用している方がいる一方で、同じ姿川地区内でも若い世代が利用しているかなどの課題があると思います。それはどの生涯学習センターでも共通ですが、今利用していない世代に対してどのように働きかけていくのかというのも1つの課題として捉えておりまして、ICT化の充実などにも着手していかなくてはならないかなと考えているところです。

十河委員

若い世代、特にお母さん方の話だと思うのですが、育成会の会長にお聞きしますと、ほとんどのお母さんたちが日中働いているので、中々こういう講座に出られないということで、姿川生涯学習センターの状況を見ますと、若いお母さんたちが来るのは子どもの健診などだけであって、一般の講座には中々来られないという現状がございます。そういったことも踏まえて、今後若い方がどのようにしたら生涯学習センターにおいでになるかも考えていただければと思います。

丸山委員長

ありがとうございました。他に何かございますか。

浅野委員

1ページ目の四角の枠の中に計画の基本目標1, 2, 3とありますが、中の文章で「主体的に学習活動に取り組んでいます」、2も「取り組んでいます」、3も「活動しています」となっておりますが、目標だとすると「取り組んでいます」ではなく「取り組みます」ではないかと思うのですがいかがでしょうか。

事務局

こちらの目標につきましては、第3次宇都宮市地域教育推進計画ということで、宇都宮市の社会教育全般の計画の目標1, 2, 3になるのですが、目標の作成につきましては、それぞれの目標が達成された姿をイメージした文章とすることが宇都宮市での定め方になります。そのため、目標1については「一人ひとりが自己の実

現や生活の向上，地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます」という姿を目標にしているということで，このような表現にさせていただいております。

丸山委員長

ありがとうございました。

この「取り組んでいる」という人たちを増やしていくということで，以前，アンケートの結果なども示していただきました。少しわかりにくいかもしれませんが，このような表現になっているということです。

そろそろ時間になります，委員の方からセンター長などに要望を出していただければ，講座の内容なども変わっていくかと思うのですが，以前のこの会議では講座の細かいところまで協議することもありましたが，去年，今年あたりはその議論は少し減ったと感じます。生涯学習センター所長の方で，利用者数を増やすあるいは講座の参加者数を増やす，というあたりが最終的な指標にはなるかと思いますが，何か工夫している，こういった地域性がありネックになっているなど色々ご苦労されているところはあるかと思いますが，工夫されている点などありましたら少しお話いただければと思います。

篠井生涯学習  
センター所長

篠井地区は宇都宮市の中でも一番人口が少なく，講座の参加者数ももちろんですが，様々なイベントやまちづくり活動へ参加する方など全般的にどう人を集めようかと常につきまとう課題になっております。その中で，地域の方自身が地域の方たちにひたすらスカウト活動をされたりしておりますが，中でも生涯学習講座に関して言いますと，時間帯の工夫をしております。前回の審議会の際にも話に出しましたが，若いお母さんが来やすい時間ですとか，地区外で働いている方が多く戻ってくるのに時間がかかりますので，開始時間を19時半など，通常から考えるとかなり遅めに設定するなどしています。朝の時間帯というのも話としては出たりしましたが，やはり中々難しく，そのような工夫には常日頃取り組んでいるところでございます。

丸山委員長

ありがとうございます。

他に委員の方から何かありますでしょうか。

竹内副委員長

この時期になりますと私の方から，市街地の25のコミュニティセンターと生涯学習の連携を緊密にしてほしいということを毎年申し上げております。「4. 生涯学習センター事業運営における重点項目について」の中で言いますと，「(3) 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実」に該当するのだと思いますが，本日出席しております各生涯学習センターの所長は地区市民センターの所長でもあるということで，生涯学習をやる一方，地域の様々な各種団体とのつながりが深いわけです。しかし，市街地のコミュニティセンターになるとその辺りが若干薄くなってしまいうようなことがあります，ぜひ生涯学習として地域

のコミュニティセンターへの目ももっと向けていただけるとありがたいなと思います。

丸山委員長

ありがとうございました。

それでは、本日出た要望などのご検討をよろしく願いいたします。

他に何かございますでしょうか。

それでは、「平成31年緒生涯学習センター事業運営の考え方（案）について」この案を承認していただけますでしょうか。

全員

異議なし。

丸山委員

それでは承認とさせていただきます。

以上をもちまして、本日予定しておりました議事はすべて終了いたしました。委員の皆様方、大変ありがとうございました。

それでは事務局に進行をお返しします。

事務局

それでは次第の4その他に移らせていただきます。事務局から連絡事項がございます。

**【配付物および次回の会議日程について説明】**

事務局

本日は丸山委員長を始め、委員の皆様、長時間にわたるご審議誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成30年度第2回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。